

静岡ブロック協議会 2020年度 基本運営方針（案）

I 委員会の設置について

次の委員会を設置する。

1. 希望溢れる静岡創造委員会【名称変更】

- (1) 各地会員会議所の会員拡大運動の支援【プロ推】
- (2) 希望溢れる静岡を創造するアカデミー事業の実施
- (3) 柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業の実施【プロ連】
- (4) 各事業におけるSDGsの推進
- (5) 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格：出向者は各LOM2名程度を募集する。

2. とうかい号支援委員会【名称変更】

- (1) 第47回JC青年の船「とうかい号」に関わる業務
- (2) 第47回JC青年の船「とうかい号」ブロックオリエンテーションの企画・実施
- (3) 第47回JC青年の船「とうかい号」ブロックナイトの企画・実施
- (4) 世界に静岡の魅力を発信する事業の実施
- (5) U-11 JCカップ少年少女サッカー大会にかかわる業務
- (6) 各事業におけるSDGsの推進
- (7) 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格：出向者は各LOM2名程度を募集し、乗船可能なメンバーを希望する。

また、東海地区協議会第47回JC青年の船「とうかい号」への出向を伴うものとする。

3. 静岡ブロック大会実行委員会【名称変更】

- (1) 第53回静岡ブロック大会の実施
- (2) 人と地域のつながりから生まれる地域の未来を描く事業の実施
- (3) 地域の魅力を掘り起こし発信する事業の実施
- (4) 地域社会でSDGsを推進する事業の実施【プロ連】
- (5) 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格：出向者は各LOM2名程度を募集する。

4. 静岡の未来創造委員会【名称変更】

- (1) 各種選挙における討論会の実施【プロ連】
- (2) 災害支援ネットワーク・災害支援協定の推進・強化・活用
- (3) 危機管理・安全保障を議論する事業の実施【プロ連】
- (4) 各事業におけるSDGsの推進
- (5) 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格：出向者は各 L O M 2 名程度を募集する。

5. 事務局

- ・各種会議の設営、資料管理並びに議事録の作成
- ・各地会員会議所との相互調整
- ・会頭公式訪問の実施
- ・ブロック公式訪問の実施
- ・ホームページ運営
- ・その他協議会運営に必要とされる業務の遂行

資格：出向者は若干名の希望者とする。

6. 財政局

- ・協議会の会計管理
- ・協議会事業におけるコンプライアンス管理
- ・本会並びに会計監査人グループとの連絡調整

資格：出向者は若干名の希望者とする。

また、東海地区協議会財政審査特別委員会への出向を伴うものとする。

II 委員会の運営について

1. 各地会員会議所の共通する課題を捉えた事業の展開を図る。
2. 担当副会長との密接な連絡により、委員会の円滑な促進を図る。
3. 委員会開催にあたり、十分な連絡と調整により全委員が出席できるよう努める。
4. 委員会は、以下のとおりスタッフを選任することが出来る。
 - 副委員長 3 名以上 5 名以内
 - 運営幹事 1 名以上 3 名以内
 - 会計幹事 1 名
5. 委員会は、委員長、副委員長並びに運営幹事の自主的な運営により開催し、事業実施後は速やかにその報告書を提出することを義務付ける。
6. 副委員長は、委員長と連絡を密にして、委員長を補佐する。
7. 運営幹事は、委員長並びに副委員長の補佐として各会議の運営並びに連絡等に関わる業務を行う。
8. 会計幹事は、委員会会計を統括し、委員長並びに財政局長との調整により適切な会計処理を行う。

III 各種会議の開催について

1. 合同会議は年 2 回とし、2 月、10 月に開催する。
2. 上記以外の委員会の開催は委員会によって決定するが、開催に当たり最低 1 か月前までに各委員に示すこととする。
3. 会議に当たってはメンバー全員が参加できるよう配慮する。

4. 役員会議並びに会員会議所会議のペーパーレスでの実施を原則とし、効果的な運営を図る。また、一部の会議にあっては、在宅会議にて実施する。
5. 役員会議並びに会員会議所会議の開催については別に定める。

IV 財政の運営について

1. 公益法人会計基準及び公益社団法人日本青年会議所が採用する会計基準に準拠し、効果的で且つ、適切な運営を図る。
2. 会費、登録料については、予算のチェックを厳正に行い、収支差のない運営を図る。
3. 事業費・委員会費については、予算準拠主義を基調として行うものの、それぞれの事業の持つ無限の可能性を制限しないよう決算準拠主義とのバランスを持たせた会計管理を行う。

V 公式訪問について

1. 公益社団法人日本青年会議所、東海地区協議会、静岡ブロック協議会に関わる認識を深め、当年度及び当年度以降の静岡ブロック協議会への要望並びに意見交換の場とすることを目的とする。
2. 原則として、静岡ブロック協議会役員による例会訪問形式にて実施する。
3. 別紙スケジュールにもとづき開催する。

VI ブロック大会について

1. 青年会議所運動に関する意識の高揚とブロック協議会内会員相互の親睦を図ると同時に、市民に青年会議所運動を発信する場として開催する。
2. ブロック大会実行委員会を設置し、主管LOMとの十分な連携を図り、企画運営をおこなう。
3. 本大会の主管は一般社団法人沼津青年会議所とする。
4. ブロック大会の登録は、全会員登録とする。

VII J C青年の船「とうかい号」について

1. とうかい号支援委員会を設置し、主管LOM並びに東海地区協議会との十分な連携を図り、静岡ブロック協議会全体事業として、その運営並びに事業実施に協力する。
2. 各地会員会議所に、一般団員の募集等J C青年の船「とうかい号」に関わる事項を要請する。

VIII ブロック選出による公益社団法人日本青年会議所出向委員について

1. 静岡ブロック協議会による出向委員は、各地会員会議所理事長の責任ある推薦をもって選出する。
2. 委員は、原則として会員会議所会議並びに委員会に出席する。